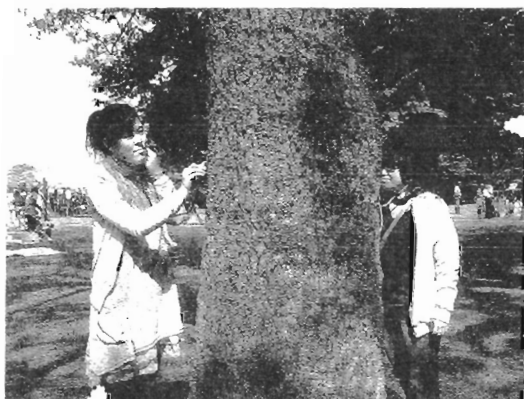




第2回 アースデイいのちの森 4/17~18

「地球にありがとうの気持ちを届ける日アースデイ」

—センスオブアースも出展参加—於 明治神宮の鎮守の杜



SOE ネイチャーゲームに参加した方の感想を…

「神奈川からきました。木の鼓動が聞こえたので初めて木が生きていることが分かった。自然がくずれてきているのは、人間が壊している。今より、悪くなるのを食い止めることが出来ると思う。

だから、エコバックを持ち歩きマイペットを持ち歩いている。レシートの中もメモに使っています。」

久美さん

「静岡からきましたが、自分の家の周囲はバイパスや高速が作られ、日頃のストレスに加え周りの環境から圧迫されるような状況になっていて、大自然に近づきたいと思っていたので、芝生に寝転がり、エネルギーを分けてもらおうとここに来ました。木の鼓動を聞いて、人間と変わらないんだな、生きているんだなと思いました。」

恵璃さん



今年のネイチャークラフトは「クルクル」
ケヤキの実のように風に乗って回って飛びます

世界に広まるアースデイの日。さらに昨年からはまった「アースデイいのちの森—つながるいのちと、いのちの祭り」に、センスオブアースは出展参加した(2回目)。会場である神宮の鎮守の杜は、総面積70万㎡(東京ドーム約15個分)に、全国から寄せられた365種・約10万本の樹木を植栽し、自然の成長を見守り、自然林へ育ててきた世界でも類を見ない人口の森だそうだ。うっそうとした森にはオオタカがすみ50種類位の野鳥の楽園となっている。森の中は、となりの新宿の街中と比べ、7~8℃も低く、東京都内とは思えない自然再生の森となっている。

国際色豊かな多くの参加者が面白そうに立ち寄って、ネイチャークラフトの『クルクル』を飛ばしていた。誰も自然の中で、自然の懐に抱かれた安心感を感じながら心を開いているように見えた。

《自然はわたしたちと一緒に生きている》 SOE 会員 佐藤佳苗（教師）



「ドクン・ドクンと音がした。
初めて聞いたよ！」

て近寄ってみると、薄い発砲スチロールで作られた“クルクル”というおもちゃでした。インストラクターの山日さんに教えてもらいながらやってみると、作りは簡単なのに、すごくおもしろい！ピンツという音がしたと思ったら、あっという間に空高く飛び上がり、くるくる回りながら落ちてきます。遊びに来ていた子どもと一緒に、クルクルをキャッチしながらまた飛ばす。とっても楽しい時間を過ごすことができました。

ふと目を移すと、聴診器を持って樹の鼓動を聞いている人も見られました。「本当に聞こえるかなあ…」おそろおそろ聴診器を樹木にあてがう子ども。「あ、聞こえたよ。」「本当？どの樹？」SOEの寺田会長も一緒になって、いくつも樹を巡っていました。「ごうごう音がする。」聴診器を持って樹にあててみると、本当に音がするんです。「樹って生きているんだ…」そう思えてきて、自然の偉大さを感じます。フィールドビンゴをしている子どもや親子もいました。「両手がかかえられない木、見つかるかな？」学生だった頃にSOEの出前授業で何度も見てきた、懐かしい光景でした。

こんな都会の中にもたくさんの樹が生きているように、実は、私たちが気がつかないだけで、私たちの身近にも自然というものはたくさんあり、一緒に生きているんだってということに、改めて気づかされました。緑残る明治神宮での、楽しいアースデイのイベント。来年も、また来たいと思いました。

2010年4月、アースデイ。私が参加した日は、お天気も良く、風も涼しげな気持ちの良い日でした。明治神宮に来るのは初めてで、その緑の豊かさにびっくり！

境内の大きな鳥居をくぐると、椎や榎、楠の樹が青々と茂り、立派な樹木のトンネルをつくっていました。こんな都会に、自然が大切に残されている場所があるんだなあ嬉しくなりました。

アースデイは、入り口から10分ほど歩いた芝生広場を中心に行われていました。到着するとすぐ、くるくと空を飛ぶ小さなパラシュートを発見。親子で夢中になって飛ばしている姿が見られました。「これ、何だろう？」… そう思っ



小学生も立ち寄り
準備に集中するスタッフ

《自然への感謝が出来たアースデイ》 SOE会員 高橋雅俊（会社員）

アースデイというと代々木公園で行う環境の祭典のイベントだをご存知の方がいるかと思いますが、もともとアースデイとはいったいつの日か知っていますか？

アースデイは1970年アメリカのネルソン議員が4月22日を「地球の日である」と宣言しアースデイが生まれました。最初のアースデイが始まって40年経ち、今年もアースデイの季節がやってきました。

私たちセンスオブアースの団体も地球への感謝の意味を込めて、明治神宮で催しを行いました。去年から明治神宮で、ネイチャーゲームとネイチャークラフトです。

ネイチャークラフトはプラスチック製の板を使って行う『クルクル』という工作づくり（ネイチャークラフト）を行っている時の様子です。このクラフトでは縦13センチ、横1,5センチくらいの大きさの板を2枚ガムテープで底の部分張り付け、輪ゴムで飛ばすという簡単な遊びが出来ます。輪ゴムで飛ばすと、くるくる回転しながらまるでヘリコプターのプロペラのように落ちていきます。

このクラフトはマツヤカエデ、ケヤキの植物の種をモデルとしていて、植物の種の飛び方について学ぶネイチャークラフトです。敷地内にいらしゃった親子連れや中学生、大人たちが夢中になり、子供の時に遊んだときの気持ちになって楽しく遊んでくださいました。特に子どもたちは夢中になり、なんどもくるくるを作って飛ばして、「どうやったらよく飛ぶようになるんだろう」と考えていました。また、ネイチャーゲームではカモフラージュ、木の鼓動というワークを行いました。カモフラージュとは日本語で言うと「周囲の背景に溶け込む」という意味である通り、自然の中に人工物をまぎれさせて、ある一定のエリアに隠します。その人工物を探し

当てるというゲームです。木の鼓動は聴診器を使って、木にあて木から出てくる音を聞き取ります。

ネイチャーゲームは言葉でなく実際にやってみないと伝わらないかと思いますが、自然の中に溶け込み五感を働かせるので、普段気付かない木の形や鳥の音、風の流れなど感じることが出来ます。

いのちの森では森林浴を体験する「グリーンウォーク」や太陽光発電による音楽、踊り、語りを楽しめる



親子の参加者にクルクルの作り方を説明する高橋さん



江戸の郷代々木ネイチャーゲームクラブとSOEメンバー

